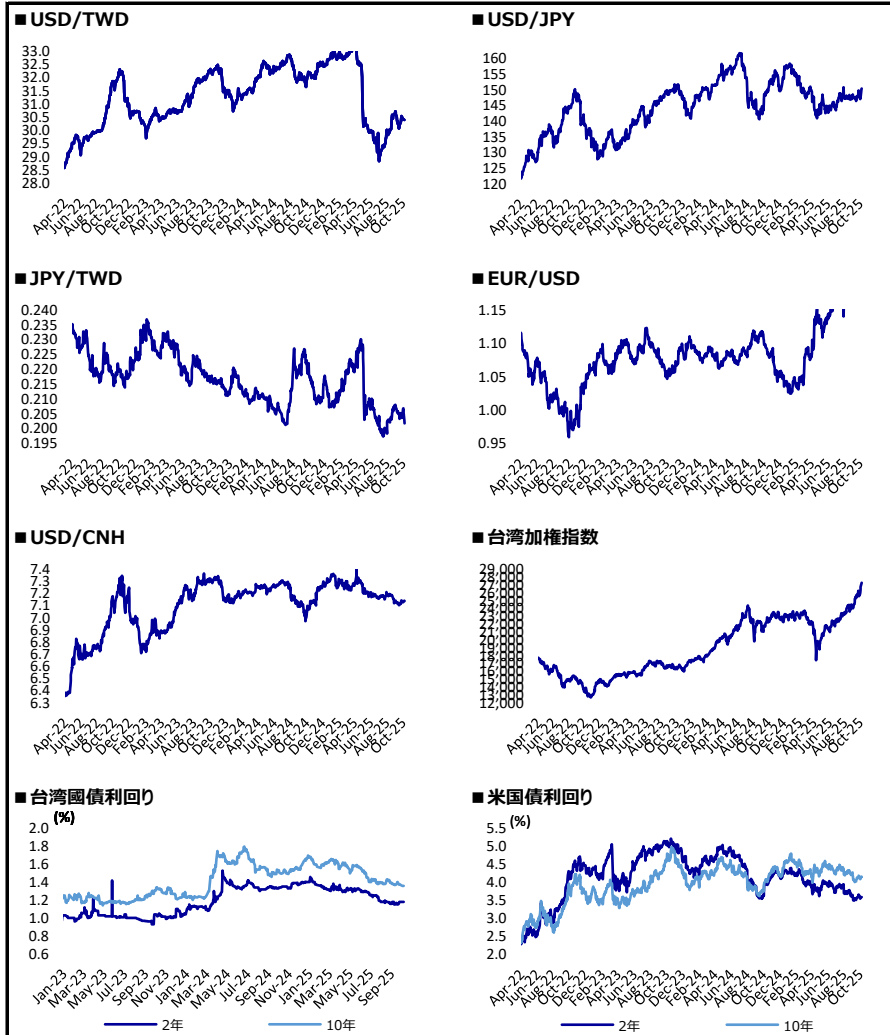


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のUSD/TWDは下落。週初9/30、30.510でオープン、米政府閉鎖に対する警戒感から、ドル売り優勢の展開、一時30.445まで下落。10/1、海外市場ではドル安が進み、USD/TWDも一時30.430まで下落したが、リスク資産は比較的に落ち着いた動きを見せたため、影響は限定的に留まった。10/2、30.450でオープン、AI関連株の上昇が加速し、資金流入による台湾ドル高も進み、ドルは一時30.358まで下落。しかし、台湾国内投資家による海外投資もあり、ドルの下値をサポート、30.415でクローズ。10/3、30.450でオープン、AI関連株の上昇が止まらず、資金流入による台湾ドル高も進み、ドルは一時30.300まで下落。引けにかけては台湾当局のポジション調整で値を戻し、最終的には前週比0.42%ドル安台湾ドル高の30.418でクローズ。週間の外国人投資家の株式買い越し額は595.9億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のUSD/JPYは上昇。週初9/29、149.42でオープン、米国の政府閉鎖懸念から上値が重い展開となり148円台半ばまで下落となった。30日、日銀の追加利上げ期待および米政府機関閉鎖に伴うリスクオフの流れから148円を割り込み、一時147.65円まで下落となりクローズ。10月1日、発表された米9月ADP雇用統計が予想を下回ると一時146.59円まで下落。一方で米9月ISM製造業景況指数が事前予想を上回ったことで147円台まで値を戻した。2日、米国時間に米金利上昇を背景に147円台前半まで値を戻して引けとなった。3日、米9月ISM非製造業景況指数の結果を受けて下落するも米9月雇用統計といった主要指標の発表がなかったため方向感の乏しい値動きが続き、最終的には前週比1.39%ドル安円高の147.45でクローズ。

■ USD/TWD 予想レンジ：30.100-30.500
今週のUSD/TWDはレンジ推移となる予想。AI関連企業の楽観的な見通しが台湾株式市場を押し上げ、台湾ドル強含み推移と思われるが、今週のFRB高官発言やFOMCの議事録に注目が集まっています。

■ USD/JPY 予想レンジ：147.00-152.00
今週のUSD/JPYは自民党総裁選にて事前予想に反して高市氏が選出されたことを受けてドル高円安に振れる展開を想定する。一方で、米国においてはつなぎ予算が成立となり政府機関閉鎖が解消となれば円安の材料となることも留意しておきたい。

今週の予想

10/6 (MON)	台湾休場
10/7 (TUE)	米8月貿易収支
10/8 (TUE)	9月16・17日開催のFOMC議事録、日本9月景気リッチャー調査
10/9 (TUE)	
10/10 (TUE)	台湾休場、米10月ミシガン大学消費者マインド指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。